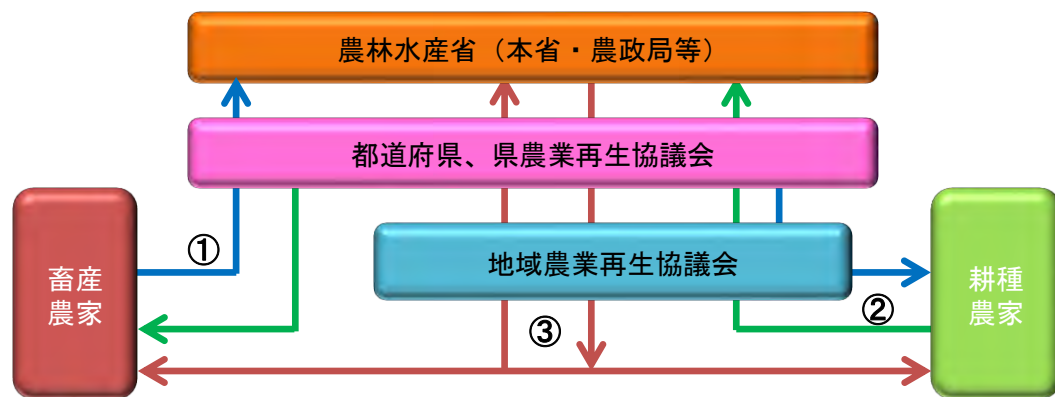


飼料用米の需要とマッチング

- 農林水産省では、畜産農家と耕種農家とのマッチングのため、新規需要の要望を調査しており、令和6年産の飼料用米について、畜産農家から約3,500トン（40件）の希望が寄せられている。
- 飼料用米の実需者からは、配合飼料の主原料であるトウモロコシと同等またはそれ以下の価格での供給、需要に応じた安定的な供給が求められている。

○ 畜産農家とのマッチング

- ① 新たに飼料用米の供給を希望する畜産農家の連絡先や希望数量・価格等の取引条件を聞き取り、需要者情報としてとりまとめ、産地側（地域再生協・耕種農家等）へ提供
- ② 地域（再生協）における飼料用米の作付面積や数量を聞き取り、産地情報として取りまとめ、利用側（畜産農家等）へ提供
- ③ 各関係機関が連携し、マッチング活動を推進



耕畜連携マッチングに参加しませんか

◎ 耕畜連携マッチングとは

農林水産省では都道府県と連携し、飼料作物の耕種農家の供給と畜産農家の需要とを結び付けています。



参加するメリット

- 1 飼料作物の新たな供給先を見つけられます
- 2 堆肥の供給も受けることができます(希望制)
- 3 畜産農家との直接契約により販売価格を決定できます
- 4 飼料用とうもろこしを輪作することで連作障害を防げます

◎ スケジュール

- ▼8月～10月上旬 畜産農家等の需要量調査
- ▼12月～1月 耕種農家の作付意向調査
- ▼1月～6月 マッチング

◎ 昨年からの変更点

- 1 畜産農家の需要が早くわかるようになりました
- 2 堆肥利用の希望も伝えられます
- 3 収穫依頼が可能な組織を紹介します
- 4 対象を全ての飼料作物にしました